【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公表番号】特表2017-503766(P2017-503766A)
【公表日】平成29年2月2日(2017.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2017-005
【出願番号】特願2016-536596(P2016-536596)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/08　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　7/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　37/02　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　25/08
Ｃ０７Ｋ　7/06

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月27日(2017.11.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象において
（ｉ）癲癇；または
（ｉｉ）癲癇損傷；または
（ｉｉｉ）発作；または
（ｉｖ）発作損傷
を治療または予防するための薬剤の製造における、
ＧｌｙＡｒｇＡｒｇＡｌａＡｌａＰｒｏＧｌｙＡｒｇＡｉｂＧｌｙＧｌｙ（配列番号１）
または
ＧｌｙＡｒｇＡｒｇＡｌａＡｌａＰｒｏＧｌｙＡｒｇＡｉｂＧｌｙＧｌｙ－ＮＨ$_2$（配列番号２）
から選択されるペプチドの少なくとも１つの有効量の使用。
【請求項２】
前記薬剤が注射の手段により前記対象に投与されるように適合された、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記薬剤が、経口投与の手段により前記対象に投与されるように適合された、請求項１に記載の使用。
【請求項４】
前記薬剤が１日に少なくとも１回の投与に適合された、請求項１～３のいずれか一項に記載の使用。
【請求項５】
前記薬剤が１日に少なくとも２回の投与に適合された、請求項１～４のいずれか一項に記載の使用。
【請求項６】

前記有効量が、対象に投与される量で少なくとも５μｇ／ｋｇである、請求項１～５のいずれか一項に記載の使用。
【請求項７】
前記有効量が、対象に投与される量で１０～２００μｇ／ｋｇである、請求項１～６のいずれか一項に記載の使用。
【請求項８】
対象において
（ｉ）癲癇；または
（ｉｉ）癲癇損傷；または
（ｉｉｉ）発作；または
（ｉｖ）発作損傷
を治療または予防するための薬剤であって、
ＧｌｙＡｒｇＡｒｇＡｌａＡｌａＰｒｏＧｌｙＡｒｇＡｉｂＧｌｙＧｌｙ（配列番号１）
または
ＧｌｙＡｒｇＡｒｇＡｌａＡｌａＰｒｏＧｌｙＡｒｇＡｉｂＧｌｙＧｌｙ－NH_2（配列番号２）
から選択されるペプチドを有効成分として含む薬剤。
【請求項９】
注射の手段により対象に投与されるように適合された、請求項８に記載の薬剤。
【請求項１０】
経口投与の手段により対象に投与されるように適合された、請求項８に記載の薬剤。
【請求項１１】
１日に少なくとも１回投与される、請求項８～１０のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１２】
１日に少なくとも２回投与される、請求項８～１１のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１３】
前記ペプチドの有効量が、対象に投与される量で少なくとも５μｇ／ｋｇである、請求項８～１２のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１４】
前記ペプチドの有効量が、対象に投与される量で１０～２００μｇ／ｋｇである、請求項８～１３のいずれか一項に記載の薬剤。